

京都・大阪・神戸 合同サッカー 大会を終えて

十月九日の体育の日
に、今回で最終回と
なった三教区（京都・
大阪・神戸）でのサッ
カー大会が行われまし
た。この大会が始まっ
たのは約九年前。当初
は京都教区と神戸教区
との交流を目的に行わ
れました。その後、「京
都教区と神戸教区の間
にある大阪教区も誘っ
て、三教区での交流
サッカーにしよう！」
ということになり、三
教区での交流サッカー
大会となりました。

のときもありました。
その後は、いろいろな
方面に声をかけたので
徐々に参加人数が増え
て、ここ数年は二十人
前後ぐらいで開催する
ことができました。

ところが、教会関係
者の参加が少なくな
り、当初の目的であつ
た三教区の交流の場と
しての継続が難しく
なってきたので、今回
の開催をもって最終回
となりました。

最後となった今回の
大会には、ギャラリー
も含め約三十名弱の参
加がありました。今後
は、別の形で若い世代
が引き継いでイベント
を企画してくれる予定
です。多くの方の参加
をよろしくお願いしま
す。今までに参加して
くださった方々、陰で
支えていただいた
方々、このような機会
を与えてくださったす
べての方々に感謝を申し
上げます。

当舎真（大阪教区／
西宮聖ペテロ教会）

辺野古の取り組み

一昨年より日本聖公
会正義と平和委員会は、
同青年委員会の協力を
得て、柴本孝夫司祭（九
州教区）を中心に、沖
縄・辺野古への新基地
建設問題に関わる働き
を続けてきました。主
な活動としては、辺野
古海岸において地域住
民によって続けられて
いる新基地建設阻止の
座り込みに参加するた
めに日本聖公会から多
くの人々と共に辺野古
を訪れること、毎月二
回の『へのこのこ通信』
のメール配信、また、毎
年6月に正義と平和委
員会と沖縄教区が主催
している沖縄週間／沖
縄の旅とも連携する形
で、プログラムの企画・
実施をすることなど
です。

活動の中核を担う辺
野古訪問は不定期では
ありますが、沖縄週間
／沖縄の旅準備会に日
程を前後させる形で、
既に訪問回数を重ねて
きています。毎回、全国
の青年有志に声を掛け、

様々な視点からの辺野
古への関心、思い、そ
して、平和への願いを
持つ人々が辺野古の地
において出逢つていま
す。各教区によって日
程や旅費の課題などは
ありますが、これまで
東京・中部・京都・横
浜・九州・沖縄各教区
などの青年有志が中心
となって、この訪問を
行ない、辺野古にそれ
ぞれが、それぞれの仕
方で平和を願う足跡を
残してきました。

辺野古の美しい海と
空を眺めながら、座り、
思うことは、「この美し
い海が埋め立てられ、
エメラルド色の輝きが
黒く濃むのは耐えられ
ない。眩しく澄んだ空
が、戦闘機の騒音で切
り裂かれることは許せ
ない」というものです。

今、存在しない美しい
自然を人間の手で創り
出すことはできません。
しかし、今、存在
する美しい自然を人間
の手で守ることならで
きます。そして、自
分の目の前にある美し

い自然が危機に晒され
ているのなら、ただ純
粋に「守りたい。この
自然を破壊してはいけ
ない」と思うもので
す。

難しい言葉が飛び交う
環境問題や米軍基地再
編問題など、辺野古を
語り、守ろうとする言
葉は沢山あります。し
かし、辺野古の海岸に
座ってみれば、それら
の言葉だけではあまり
に無力なことを実感し
ます。きつと、人間を
突き動かす、人間を変
えていくのは、重ねら
れた言葉や文字ではな
く、ただ純粋な願い
だからです。一度だけ
でもぜひ辺野古を訪れ
てください。新聞記事
を読み、ニュースを聴
いて感じるものとは異
なる、皆さんを突き動
かし、変える何かが辺
野古にはあるはずで
す。

執事 ヨセフ下原大介
（中部教区岐阜聖パウロ
教会牧師補・沖縄週間
／沖縄の旅スタッフ）

医師・看護師・調理師・管
理栄養士・作業療法士等募
集（新生病院）
中部教区の関連施設であ
る特定医療法人新生病院
（長野県小布施町）は、カナ
ダ聖公会の宣教の一環であ
る結核療養所としてスタ
ートした歴史を今も大切に
し、身体を治すだけの場所
ではなく、人に仕え、人の
人生に関わり、癒され治る
場所であり続けたいと思っ
ています。近年では、回復
期リハビリ病棟やホスピス
病棟の充実などを行って
います。

小布施における地域医療
の中核病院として、行政、
社会福祉協議会、在宅介護
支援センター、その他諸団
体との連携事業も多く、今
後、在宅医療・在宅介護な
ど地域医療に力を注ぐ方針
を打ち出しています。ミツ
シヨナリーマインドを持つ
て共に働いてくださる仲間
を求めています。ことに業
務拡大により二〇〇七年度
に多数の人材を採用予定で
す。問い合わせは、新生病
院・宮島（〇二六一二四
七一一〇三三）まで。（新生
病院法人事務局／中部・岡谷
聖バルナバ教会・宮島義人）

職員募集（名古屋学 生青年センター）

【業務内容】一、子ども
や青年、高齢者、外国籍
住民などを対象に、地域
に開かれたプログラム
の創出。二、一般事務。

【定員】一名【待遇】当セ
ンターの給与規定によ
り、経験や年齢等を考慮
して決定。社会保険等
（健康保険、厚生年金、労
働保険）有。【主な勤務
地】名古屋学生青年セン
ター（愛知県名古屋市）
【就業時期】来年四月以
降（相談可）【応募方法】
以下の書類を郵送（一）
履歴書（二）志望動機
エッセー【教会と社会と
私（千二百字以上）】*応
募書類は返却しません。
*書類選考通過者には、
面接日を連絡します。
【連絡先】名古屋学生青年
センター（0521-78110165）

発行 日本聖公会全国青年
ネットワーク事務局
名古屋市昭和区宮東町260
名古屋学生青年センター内
tel 052-781-0165 fax 052-781-4334
e-mail youth.po@nssk.org
www.nssk.org/province/youth/

このニュースに掲載されている今後の様々なイベントの詳細に関するお問い合わせは、全国青年ネットワーク事務局でどうぞ。全国青年ネットワークM.Lでもご案内しています。これを機会にぜひご登録を。M.L上で登録可能。